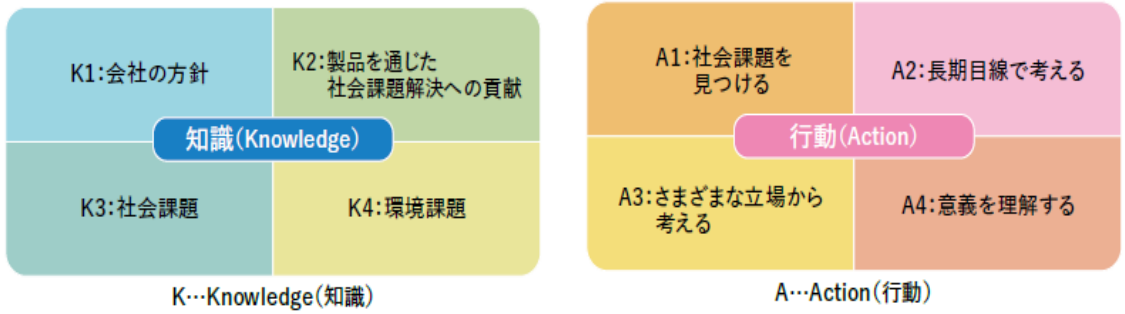
社会課題解決貢献力の向上のための
教育、社会・SDGs貢献活動

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD.

1．社会課題解決貢献力の向上のための教育

◆ 社会課題解決に貢献する人材の育成

当社グループは社会課題解決に貢献する力を伸ばすためには、知識と行動のレベルを向上させていくことが重要と考え、社会課題解決に貢献する人材に必要な素養として、8項目（知識4、行動4項目）に整理しています。
2026年度から始まった新環境中期計画に向けて、これらの素養について見直しを行いました。これらの素養を伸ばす教育プログラムを従業員に提供し、定期的にアンケート調査を行うことにより、一人ひとりの知識、行動力の伸長を確認しながら、弱点を補強し、強点を伸ばす教育や活動を推進しています。



社会課題解決に貢献する人材に必要な知識、行動

◆ 教育推進体制

積水化学グループは社会課題解決貢献力の向上のための教育においても、PDCAサイクルを回しながら、社会課題解決貢献力の高い人材を育成しています。

社会課題解決貢献力向上の教育推進体制



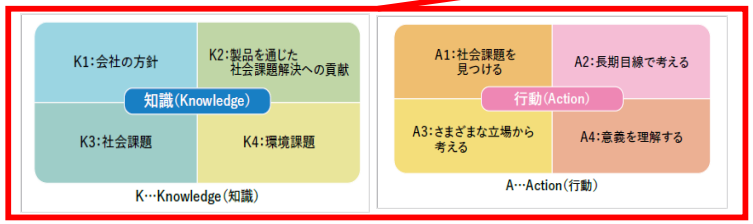
Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD.

1．社会課題解決貢献力の向上のための教育

◆ 主な取り組み

1）社会課題解決貢献力の向上のための教育プログラム（2025年度実施内容）

	No.	プログラム名	対象					形式区分	教育カテゴリー							
									知識				行動			
			生産	技術・開発・設計	営業	スタッフ	職責		K1	K2	K3	K4	A1	A2	A3	A4
上期	1	【新入社員研修】ESG教育(概論)、②マテリアリティ研修（環境）	○	○	○	○	新入社員	動画+e-ﾗｰﾆﾝｸﾞ	●	●	●	●				●
	2	社会課題解決貢献力向上e-ラーニング（行動/シナリオ分析）	○	○	○	○	全職位	読み物eﾗｰﾆﾝｸﾞ				●		●	●	
	3	環境・社会関連の時事トピックス(グリーンウォッシュ対策) ※基幹職以上は追加コンテンツあり	○	○	○	○	全職位	読み物eﾗｰﾆﾝｸﾞ	●	●		●		●		●
	4	環境e-ラーニング（気候変動）	○	○	○	○	全職位	読み物eﾗｰﾆﾝｸﾞ	●	●		●		●		●
	5	CFP算定研修		○		○	CFP算定対象部署	講義セミナー	●	●		●	●			●
	6	選抜者向け実践プログラム（創発座談会 等）				○	選抜	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	●	●	●	●	●	●	●	
下期	1	【新任基幹職研修】①ESG教育(概論)、②マテリアリティ研修（環境）	○	○	○	○	新任管理職	動画+e-ﾗｰﾆﾝｸﾞ	●	●	●	●		●	●	●
	2	環境e-ラーニング（資源循環）	○	○	○	○	全職位	動画+e-ﾗｰﾆﾝｸﾞ	●	●		●		●		●
	3	環境・社会関連の時事トピックス(これからのエネルギー) ※基幹職以上は追加コンテンツあり	○	○	○	○	全職位	読み物eﾗｰﾆﾝｸﾞ	●	●		●		●		●
	4	CFP算定研修		○		○	CFP算定対象部署	講義セミナー	●	●		●	●			●
	5	選抜者向け実践プログラム（創発座談会 等）				○	選抜	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ	●	●	●	●	●	●	●	
	6	SDGs貢献活動担当者研鑽会	○	○		○	貢献活動推進者	講義セミナー	●		●	●	●			●
	7	社会課題解決貢献力チェック	○	○	○	○	全職位	アンケート	-	-	-	-	-	-	-	-



Copyright© SEKISUI CH

1．社会課題解決貢献力の向上のための教育

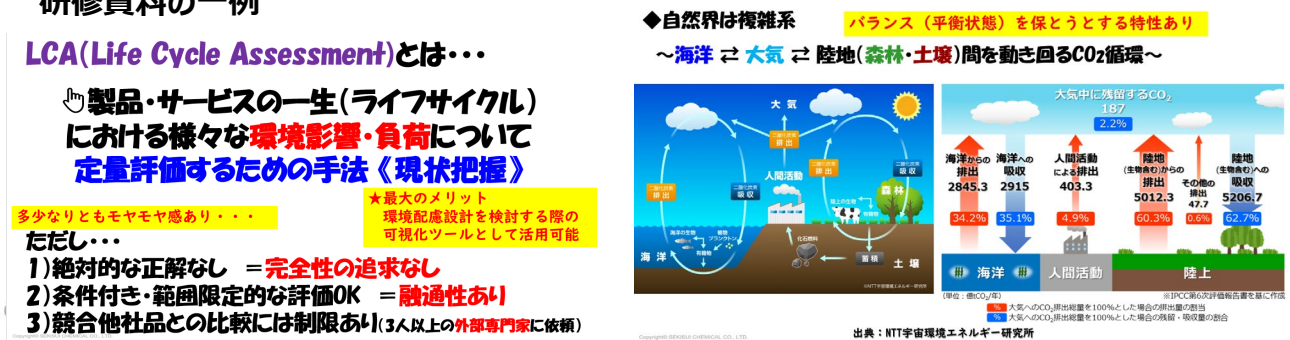
◆ 主な取り組み
2）現中期の強化点に即した教育の実施

現中期経営計画において、製品の低炭素価値の訴求を推進するため、CFP（カーボンフットプリント）算定に関する教育プログラムを実施しました。

プログラム例：CFP算定に向けた人材育成研修の実施

2025年度以降、積水化学グループではCFP（カーボンフットプリント）の算定を推進するため、100種類以上にも及ぶサステナビリティ貢献製品それぞれの特性を踏まえた製品別研修などの社内教育を実施しました。
製品別研修の一例として、『CFP算定に向けた人材育成研修』を開催し、関連部署への支援を行うことで、CFP算定の意義や社会動向に関する理解の促進を図っています。
開催実績としては2025年度単年で延べ13回にわたり実施し、約40名が参加しました。
当社グループを取り巻く環境への理解を起点に、実務レベルでの算定へとスムーズに移行できる体制づくりを進めることで、現場における算定風土の醸成と力量の確保に取り組みました。このような算定基盤の整備を通じて、将来的には現場主導によるCFPのタイムリーな可視化と環境価値の創出を推進していきます。
これらの取組みを通じて、積水化学グループは中期経営計画の実現に向け、全社的な脱炭素経営の加速とサプライチェーン全体でのCO_2削減を目指しています。

研修資料の一例



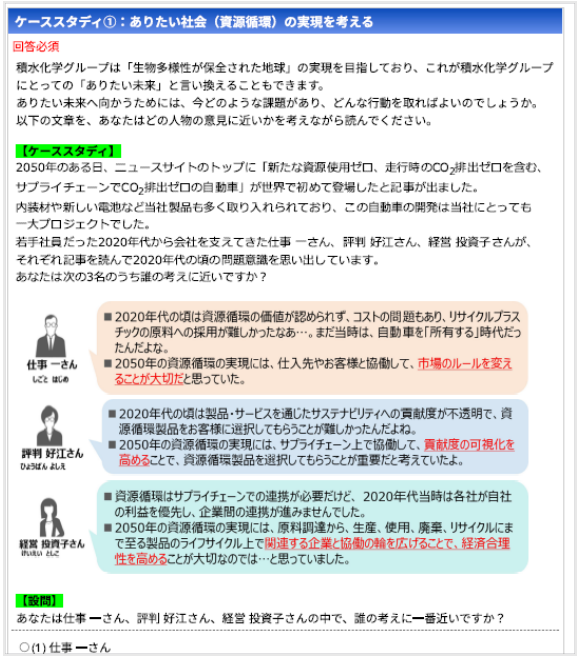
◆ 主な取り組み
3）弱点補強教育の実施

2024年度に国内の従業員を対象に実施した「社会課題解決貢献力チェック」において、点数が低かった項目（弱点）を補強するプログラムを2025年度に実施しました。

プログラム例：行動変容e-ラーニング「シナリオ分析で考えるサステナブルな行動」の配信

2024年度の社会課題解決貢献力チェックでは、カテゴリー「A2：長期目線で考える」の点数が低かったため、この内容を補強するe-ラーニングを配信しました。

本e-ラーニングは、「ありたい社会（資源循環）の実現」と「避けたい社会への適応（気候変動）」を題材としたケーススタディを通じて、長期目線で考え行動する力を養うことを目的としています。
受講者は、将来のあるべき姿から逆算して現在の行動を考える「バックキャスティング」の考え方を学び、社会課題を長期的かつ複合的に捉える視点への理解を深めました。



当社グループは今後も、社会課題解決貢献力チェックの結果を活用した教育を継続的に実施し、従業員一人ひとりの社会課題解決貢献力の向上に取り組んでいきます。

1．社会課題解決貢献力の向上のための教育

◆ 社会課題解決貢献力の人材指標の運用

積水化学グループは、従業員の社会課題解決に必要な知識や行動の現状を把握し、自己研鑽を促すため、個人の進捗の目安となる人材指標を構築し、2021年度より運用しています。

現中期経営計画においても、引き続き本指標を活用しています。

具体的には、国内の従業員を対象に年1回、「サステナブルな社会の実現に向けて、LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造する（Vision 2030）」ために必要な社会課題解決貢献力を測るアンケート調査「社会課題解決貢献力チェック」を実施し、従業員一人ひとりの知識や行動の状況を把握しています。

アンケート調査はセルフチェック形式で行い、社会課題に関する知識や、課題解決につながる行動の実践状況などを確認します。定期的に調査を実施することで、社会課題解決貢献力の変化や伸長を把握し、各人が自身の業務を通じて社会課題解決への貢献を意識して行動するきっかけとしています。

2025年度も、本指標により従業員の強みや課題を把握しました。その結果を踏まえ、弱点を補強し、強みをさらに伸長する教育プログラムを実施することで、社会課題解決貢献力の向上と、社会課題解決に貢献できる人材の育成を推進しています。

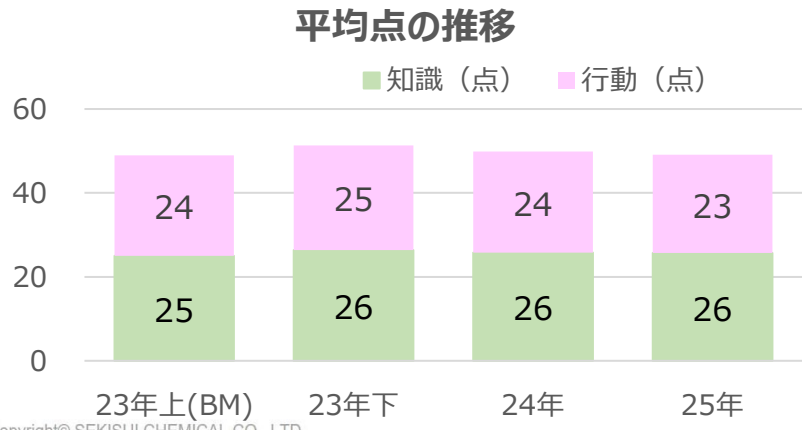
◆ 2025年度 社会課題解決貢献力チェック結果

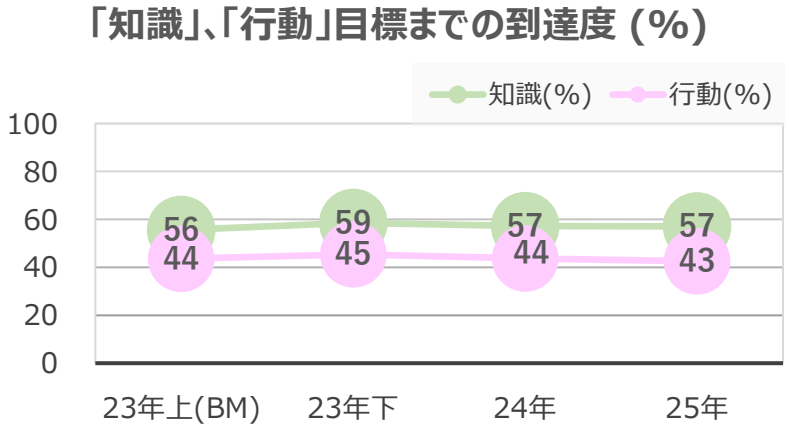
教育プログラム実施後に「社会課題解決貢献力チェック」を行い、2023年度に設定したベンチマークおよび前年度との比較により、社会課題解決貢献力の状況を確認しました。

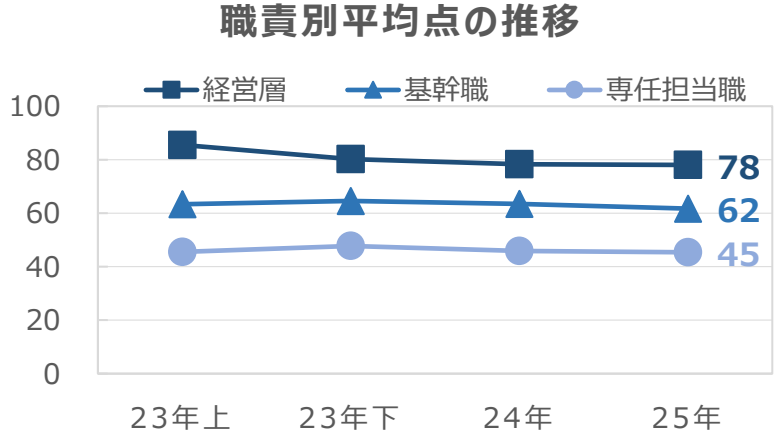
2025年度の全社平均点は49点となり、ベンチマークと同水準でした。また、前回（2024年度）との比較では1点低下しました。
知識、行動の目標到達度では、知識は57%、行動は43%となり、行動面においてより大きな向上の余地があることが分かりました。

職責別では、平均点は経営層、管理職、一般職の順に高く、前年度と同様の傾向が見られました。この結果から、職責ごとの課題や習熟度に応じた教育施策を継続していくことが重要であると考えています。

今回の調査結果を踏まえ、次期中期計画においても職種や職責に応じた教育を継続するとともに、行動変容を促す教育プログラムを充実させることで、社会課題解決貢献力のさらなる向上を目指していきます。







Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD.

2．社会課題解決貢献力の向上のための行動

◆SDGsに基づく社会貢献活動の推進

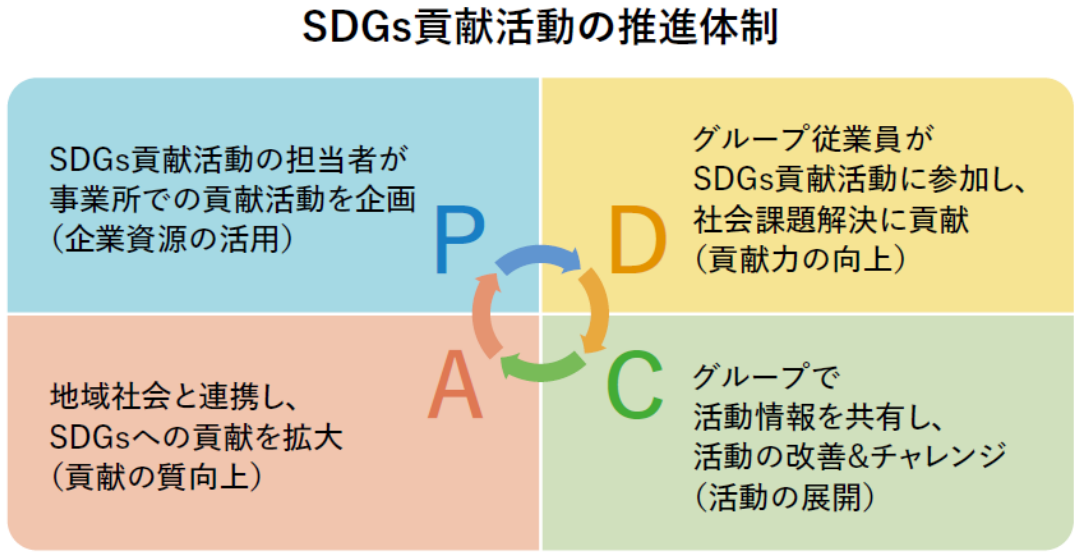
当社グループは、事業活動を通じた社会課題解決への貢献にとどまらず、社会と関わるさまざまな側面においても企業の特性や資源を活かした社会貢献活動を進めています。
活動の柱として、「環境」「次世代」「地域コミュニティ」を主要3分野と位置付けています。そして、グループで取り組んでいる社会貢献活動の中で、SDGsに貢献する活動を「SDGs貢献活動」と定義し、推進しています。



当社グループは、社会課題解決に貢献するためには、SDGsの認識が重要であると考えます。SDGsへの貢献を意識して社会貢献活動に取り組むことで、グループ全体で社会課題解決に貢献する力の向上に取り組んでいます。 社会の一員として社会課題解決のためにどんなことができるのか、SDGsを「道しるべ」として、身近なことから行動につなげていきます。

◆SDGs貢献活動の推進体制

当社グループは、国内外グループ各社の事業所や従業員による自主的なSDGs貢献活動を展開しています。 国内外グループ各社の担当者とESG経営推進部が連携して、SDGsの周知とSDGs貢献活動を推進しています。
また、活動のPDCA（Plan-Do-Check-Action）サイクルを回しながらSDGsに貢献する企業風土を醸成し、SDGs貢献活動を推進する人材を育成しています。



Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD.

2．社会課題解決貢献力の向上のための行動

◆「SDGsチャレンジ」で活動を活性化

積水化学グループは、SDGsへの理解や社会課題への関心を高めるための地道な取り組みを進めています。具体的には、グループ各社のSDGs貢献活動に関する情報発信や、担当者とのSDGs関連情報の共有化等、積極的に意識啓発を行っています。

2025年度は担当者を対象に活動研鑽会を実施し、環境問題に関連する講義や事業所の社会貢献活動の事例を共有する等、SDGs貢献活動を推進するための研鑽を行いました。

また、事業所で実施した活動の改善や、新たな活動プログラムに挑戦してみようとする取り組みを「SDGs チャレンジ」として応援することで、活動の活性化を進めています。



活動研鑽会の様子

●2025年度の活動結果

SDGs貢献活動として、188件の取り組みが国内グループ事業所で実施され、そのうち47件は「SDGsチャレンジ」の活動でした。

2023年度から2025年度は、気候変動対策・資源循環・生物多様性保全・地域連携といった社会課題の解決に貢献する社会貢献活動を推奨し、活動の活性化を図っています。
今後もSDGsを視点にした社会貢献活動を通じて、社会課題解決に貢献していきます。

SDGs貢献活動件数の推移（国内グループ）

年　度	活動件数	SDGsチャレンジ
2021	75	32
2022	122	41
2023	167	51
2024	182	55
2025	188	47

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD.

2．社会課題解決貢献力の向上のための行動

◆主要3分野の取り組み　～環境・次世代・地域コミュニティ～

1．環境：社会の基盤となる自然環境の保全

当社グループは、「SEKISUI 環境サステナブルビジョン2050」で掲げている「生物多様性が保全された地球の実現」に向け、自然環境の保全に取り組んでいます。NPO団体等との協働を通じて、自然保護活動等地域の環境に関する社会貢献活動を各地で展開するとともに、優れた活動を社内で表彰しています。従業員が主体となって活動を実施することで、環境人材の育成と社会課題の解決につながると考えています。2025年度、グループ事業所では周辺の清掃活動や森林保全活動、環境教育等の取り組みが実施されました。

●2025年度に実施・参加した主な社会・SDGs貢献活動事例（環境分野）

地域社会と協働して、自然環境や生物多様性を守る活動を行っています。



環境課題	活動内容／事業所名	目　的	継続性	協働・連携先
気候変動	松尾鉱山跡地での植樹活動／積水メディカル・岩手工場	植樹を行い荒地を森林に再生する	2007年～	一般社団法人東北地域環境計画研究会
	海岸林の再生活動「たねぷろじぇくと」／セキスイハイム東北G	地域植生の苗木で海岸林を再生する	2015年～	被災地里山救済・地域性苗木生産ネットワーク
資源循環	非常用備蓄品の再活用／セキスイハイム工業・東京事業所	備蓄用の食品をフードバンクに寄付し、廃棄物を削減する	2023年～	特定非営利活動法人フードバンク埼玉
	クリアホルダーのリサイクル活動／積水化学工業・武蔵工場	使用済みのクリアホルダーを廃棄せずに再生につなげる	2024年～	アスクル資源循環プラットフォーム
水リスク	中ノ井川の清掃活動／積水化学工業・滋賀栗東工場	川中や周辺のごみを回収し、川の水質や生態系を保全する	1990年頃～	栗東市、野尻自治会
	中海・宍道湖一斉クリーンアップ活動／積水成型工業・出雲工場	清掃活動によって「中海・宍道湖」の環境を保全する	2006年～	島根県、出雲市
生物多様性	筑波山麓での里山保全活動／積水化学工業・つくば事業所	田んぼの里山自然環境を維持し、生物多様性を保全する	2012年～	特定非営利活動法人つくば環境フォーラム
	新町川の外来水草駆除活動／四国積水工業	外来種の水草を駆除し、在来種の水草を保全する	2015年～	特定非営利活動法人西条自然学校
啓発・教育	「潤いの森」自然観察会（小学校課外授業）／千葉積水工業	生き物達の雑木林を保全し、子ども達の自然体験を促進する	2015年～	市原市立湿津小学校

Copyright© S

2．社会課題解決貢献力の向上のための行動

里山の保全活動

【事業所】積水化学工業(株) 滋賀水口工場、積水水口化工(株)／滋賀県甲賀市
【協働先】甲賀市
【目　的】竹林整備や除伐した樹木のコマ切り等の里山整備活動を通じて地域の自然環境を保全する
【継続性】2024年より活動実施
【参加人数】2025年度：2回開催、従業員18名が参加
【関連するSDGs】

同工場は2025年に甲賀市と「生物多様性パートナーシップ協定」を締結し、「30by30目標」の自然共生サイトに認定された「みなくち子どもの森」において従業員がボランティアで里山整備に取り組んでいます。活動の体験を通じて地域の自然環境の大切さを学び、環境意識の向上につなげていきます。



子ども達に生物多様性啓発図書を寄贈

【事業所】積水化学グループ事業所10拠点※
【協働先】地域の小学校、こども園・幼稚園、図書館（計18団体）
【目　的】啓発図書を寄贈し、生物多様性への理解および次世代教育の促進に貢献する
【継続性】グループ共同では2025年度が初めての実施
【効　果】2025年度：地域小学校など18団体に計325冊の図書を寄贈
【関連するSDGs】

子ども達が生き物や地球の不思議について関心をもち、生物多様性の大切さを感じてほしいと考え、グループ事業所10拠点で近隣の小学校やこども園、図書館に絵本や図鑑などの啓発図書を寄贈しました。小学校では「図書の読み聞かせ」を行うなど、子ども達の好奇心を広げるきっかけになったそうです。

※本活動を実施した事業所（順不同）
セキスイハイム東四国、東北セキスイハイム工業、
セキスイハイム工業・中部事業所、
四国積水工業、九州積水工業、ヴァンテック、
積水ナノコートテクノロジー、積水ＬＢテック、
積水化学工業・滋賀水口工場/多賀工場



Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD.

海外グループの環境保全活動事例

【事業所】積水医療科技(蘇州)有限公司（中国）
【目　的】 地域の公園環境を保全する
【継続性】2024年度より活動実施
【参加人数】 2025年度： 1 回開催、従業員30名が参加
【関連するSDGs】

同社は地域の環境ボランティア活動として公園でのクリーンアップを実施し、環境美化に貢献しています。
2025年度は同里湖公園(Tongli Lake Park)において、従業員と家族で遊歩道や水辺のごみを回収しました。活動を通じて環境意識を高めながら自然環境を保全しています。



Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD.

2．社会課題解決貢献力の向上のための行動

◆主要3分野の取り組み　～環境・次世代・地域コミュニティ～

2．次世代：子どもたちが健やかに成長できる地域社会づくり

積水化学グループは、次世代を担う子どもたちが健やかに成長できる社会を目指し、小中高生を対象に、事業の特性を活かした次世代教育を実施しています。従業員による出前授業や化学教室、SDGs教育などを通じて、子どもたちが社会課題や科学技術への理解を深め、自ら考え行動する力を育むことを支援しています。

主な取り組み

カテゴリー	内容	事業所名
理科授業・化学教育	従業員が講師となり、子どもたちに理科授業や化学教室を提供しています。実験や工場見学を通じて科学技術への理解を深めるとともに、企業の技術や製品が社会課題の解決や暮らしを支えていることを学ぶ機会を創出しています。	四国積水工業、徳山積水工業、積水化学工業・水無瀬事業所、積水メディカル
SDGs授業	従業員が講師となり、当社のサステナビリティ貢献製品を題材としたSDGs教育を実施しています。社会課題の解決と企業活動とのつながりを学ぶとともに、持続可能な社会の実現に向けて自ら考え行動する力を育む機会を提供しています。	積水化学工業・東京本社
キャリア教育	職場体験や出前授業を通じて、事業活動やものづくりの現場を学ぶ機会を提供しています。仕事の役割や社会とのつながりへの理解を深めるとともに、将来の職業観や勤労観の形成を支援しています。	セキスハイム山陽、積水化学工業 環境・ライフラインカンパニー 中部営業部、東日本積水工業、奈良積水、積水化学工業・武蔵工場
自然体験・環境学習	生きもの観察会や森林保全活動などの体験型プログラムを通じて、自然環境や生物多様性への理解を深める学習機会を提供しています。地域と連携した活動を通じて、環境保全の重要性を学び、自然と共生する意識を育んでいます。	セキスイハイム東北、セキスイハイム工業・関東事業所/中部事業所、積水化学工業・滋賀栗東工場、千葉積水工業、四国積水工業、九州積水工業、積水化学工業・滋賀水口工場、積水化学工業・つくば事業所

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD.

2．社会課題解決貢献力の向上のための行動

国内のグループ会社の次世代教育事例

中学生向け教育：職場体験学習「トライやる・ウィーク」への参画
【事業所】セキスハイム山陽株式会社
【教育対象】地域の中学生
【人　数】地域の参加者など：22名
　　従業員：30名
【内　容】
セキスイハイム山陽は、兵庫県が推進する中学生向け職場体験活動「トライやる・ウィーク」に受入れ企業として参加しました。参加した生徒は、住宅展示場や建築現場、分譲地の見学のほか、住宅間取り作成体験、イベント準備、環境整備など、住宅事業に関わるさまざまな業務を体験しました。実際の職場での体験を通じて、住まいや暮らしを支える仕事への理解を深めるとともに、将来の進路や職業選択を考えるきっかけを提供しました。

【関連するSDGs】


城東分譲地　のぼり設置


はりま勝原見学　停電体験

海外のグループ会社の次世代教育事例

小学生向け教育：環境配慮製品についての展示ブース設営
【事業所】SEKISUI SPECIALTY CHEMICALS AMERICA, LLC.（米国）
【教育対象】地域の小学校の児童
【人　数】地域の児童：80-90名
　　従業員：7名
【内　容】
SEKISUI SPECIALTY CHEMICALS AMERICAは、地域の小学校で開催された、科学や技術、芸術などを学ぶ教育イベントに参加しました。PVOH製品を活用したスライム作り体験ブースを出展し、約80～90名の子どもたちに化学の楽しさを伝えました。また、保護者には当社製品の活用例を紹介し、高学年には化学業界の仕事やキャリアについて説明するなど、次世代人材の育成に貢献しました。

【関連するSDGs】



Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD.

2．社会課題解決貢献力の向上のための行動

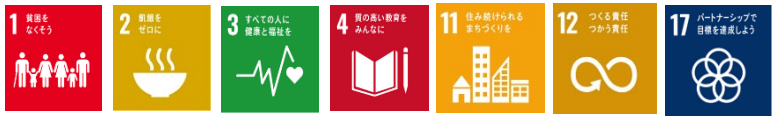
◆主要3分野の取り組み　～環境・次世代・地域コミュニティ～

3．地域コミュニティ：企業市民としての持続可能な社会づくり

当社グループは、地域コミュニティの一員として社会貢献活動を積極的に展開し、持続可能な社会づくりに貢献しています。
地域社会の抱える課題に対して理解を深め、課題の解決につながるよう、地域と協力した「安全・安心の街づくり」や地元小学校の課外授業の開催、開発途上国への支援プログラムなど、さまざまな取り組みを進めています。

●2025年度に実施・参加した主な社会・SDGs貢献活動事例（地域コミュニティ分野）

地域社会と連携して、持続可能な社会を目指す活動を行っています。



社会課題	活動内容／事業所名	目　的	継続性	協働・連携先
地域支援	災害備蓄用飲食品を寄付／積水化学工業・滋賀水口工場	災害備蓄品を活用して支援が必要な人に食品を提供する	2024年～	社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会
途上国支援	途上国の学校給食支援「TFTプログラム」／積水化学工業・水無瀬事業所	従業員の健康向上と共に途上国の子ども達の給食を支援する	2009年～	特定非営利活動法人TABLEFOR TWO International
医療支援	企業献血／積水化学工業・京都研究所	継続的に献血活動を実施し、地域の医療を支援する	1966年～	日本赤十字社　京都府赤十字血液センター
教育支援	小中学生向け図書を寄贈「徳山積水文庫」／徳山積水工業	時世にあった図書を寄贈し、子ども達の読書活動を支援する	2004年～	周南市立新南陽図書館
まちの安心・安全	交通安全啓発クリアファイルを寄贈／群馬セキスイハイム	地域警察署に協力して街の交通安全を呼びかける	2015年～	群馬県警察本部交通部
文化・スポーツ	陸上イベント「走り方教室」を開催／積水化学工業・武蔵工場	子ども達に正しい走り方や運動の楽しさを伝え、健康を促進する	2025年新規	蓮田市スポーツ少年団

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD.

2．社会課題解決貢献力の向上のための行動

水害被災地の復旧支援活動

【事業所】積水化学グループ事業所10拠点※
【協働先】認定NPO法人 ADRA Japan
【目　的】 従業員が縫った雑巾を寄贈して水害被災地の復旧を支援
【継続性】グループ共同では2025年度が初めての実施
【効　果】 2025年度：合計で594枚の雑巾をNPO法人に寄贈
【関連するSDGs】



NPO法人ADRA Japanの「ちくちくボランティア」の取り組みに賛同し、国内の水害被災地への復旧支援に役立ててもらおうと、従業員が古タオルで縫った雑巾を寄贈しました。被災地が断水しても復旧活動を行いやすいように吸水性のよい使い古したタオルで作製した雑巾が必要だと教えていただき、従業員の家族も協力して作製・寄贈しました。

※本活動を実施した事業所（順不同）
セキスイハイム中四国、千葉積水工業、
東都積水・東京営業所、奈良積水、
四国積水工業、徳山積水工業、
積水メディカル・つくば工場、
ＮＴＴデータセキスイシステムズ、
積水化学工業・東京本社/大阪本社



小中学校にバスケットボールを寄贈

【事業所】積水多賀化工(株) ／滋賀県犬上郡多賀町
【協働先】滋賀レイクス
【目　的】 子ども達がスポーツに取り組む環境を改善する
【継続性】2025年度が初めての実施
【効　果】 2025年度：地元３町に計32個のバスケットボールを寄贈
【関連するSDGs】



滋賀のプロバスケットボールチームである滋賀レイクスの「バスケットボール寄贈プロジェクト」に賛同し、パートナシップを締結して地元３町（多賀町、甲良町、豊郷町）にバスケットボールを寄贈しました。寄贈したボールは各町の小中学校に届けられ、学校での授業や部活動で活用されます。
子ども達の健全な心身の育成の一助になれば
と願っています。



Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD.



Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD.